

## 2024/02/04 兵庫県英語 Debate Contest

2月4日に実施された「第17回兵庫県高校生英語ディベートコンテスト」において、今年度で三回目の出場となりました。国際文化情報学科1年生2名、2年生3名の合計5名の登録メンバーで一生懸命戦いました！準備では、普通科と学科で結成されたリサーチメンバー4名と協力しながら、ALTにも何度も質問し、練習試合も多く実施して、日々練習を重ねてきました。難しい論題だったにも関わらず、最後の1秒までしっかりと発言することができました！！ Good Work!!

論題「日本政府は、代理母出産を合法化すべきである。是か非か。」



エビデンス(証拠)をポスターにして、立論をサポートします！！



Good Try!!

朝早くから、試合直前までみんなで打ち合わせ！



## Reflection (みんなで振り返りをしました!)

後日、エビデンス(証拠)を集め、しっかりと情報収集をしてくれたリサーチメンバーと共に、振り返りをしました。それぞれみんなの前で感想を発表し、今年度の課題を整理しました。今まで練習をサポートしてくれたALTのコメントを聴きながら、みんなの頑張りを称えました!! Good job!!



### <生徒感想文より>

★Thank you for supporting our debate. The first thing I learned this time is that it is important not to just collect information, but to think about what kind of information is important to convey and understand it. I think this is important for conveying opinions to people even if it is not a debate, so I will keep it in mind. In addition, I was very inspired by facing high school students who are conveyed in English with their own opinions. Thank you for giving me the opportunity to challenge. I would like to make use of what I learned from this experience in the future. ★最初は1年生の自分がハイレベルなディベートについていけるか不安でした。でも練習していくうちに英語力が上がっているを実感しました。反論を上手くできた時はすごく嬉しかったです。★今回は、リーダーとしてみんなに指示を出さなければならなかったのが前回よりも大変でしたが、負けたことで後輩たちの気持ちが沈んでいないか心配でしたが、「良い経験だった」と言ってくれたので、それがとてもうれしかったです。★二年連続ありがとうございます!リサーチメンバーとして皆さんのお役に立つことができ本当に良かったです。★私たちは1人1回発言することを目標にしてコンテストに挑みました。正直、私は思うような結果も実力も出すことができず、自分の力不足を感じました。しかし、私なりに最後まで諦めずにやり抜くことができたし、やり抜くことで自信になりました。ひたすら悔しかったです。ちゃんと全力を尽くそうという心構えで挑むことができたので良かったと思います。大変なことまみれでしんどい時も辛い時も沢山あったけど、私1人じゃなくディベートメンバーとリサーチメンバー、先生方みんなと協力して頑張れことが今となってはすごく思い出になりました。自分のためになったし、今年も挑戦できてよかったです。